

**編集後記**

最近、全国の諸大学では大なり小なり紛争問題が生じており、この傾向は日本のみならず、全世界的な風潮のようであり、現在の大学が持つ構造的な宿命のようであります。

日本における大学教育は、その基本理念において、第2次世界大戦の敗戦を契機に大きく転換し、また戦後においても、朝鮮戦争以後の爆発的な経済の発展拡大により、量的な変貌をとげてきました。すなわち、戦前においては、いわゆる象牙の塔的な研究機関としての色彩が強く、戦後においては、社会・経済の要請による大学教育の普遍化、生産化が顕著のようであります。

工学部、特にわれわれが属する土木部門の大学教育においても、この傾向は顕著で、西欧（特にドイツ）の大学教育を範とした多分にギルド的な少数教育から、アメリカ風の開放的かつ日本独特な大量教育へと変換してきました。

一方、土木教育内容は、社会の発展と学術の進歩により、その守備範囲は拡がる一方であります。

このように、教育体形と教育内容という大きな2つの問題をかかえた現在の大学土木教育をとりあげて、われわれは日本における大学土木教育をどのように育ててゆけば良いかを考えてみることにしました。

そして内容的には、皆様方からいただいたアンケートをもとに、大学の土木教育の現状について、川本氏に論文を、また欧州と合衆国における大学土木教育について、それぞれの国々の大学教育事情に精通しておられる赤井、林両氏に論文をお願いし、さらにパネル討論による問題のハイライト化を行ないました。

この特集号が、皆様の思考を通じ、大学土木教育に反映されれば、編集側としての企画は十分に生かされたと信じます。

本号は、このほかに今秋名古屋市を中心に開催される昭和43年度全国大会の開催地区案内を特集しました。中部地区の現況を知るうえでも良い記事ですのでご一読をおすすめします。

(本間伝・記)

**会員の入退会について (昭和 43.7.1~7.31)**

入会	126名 (正 65 学 59 特 1.D 2)
復活	5名 (正 1 学 4)
退会	39名 (正 31 学 6 特 1.C 1 特 1.D 1)
転格	24名 学→正 21 正→学 3

**特別会員の入退会**

○入会	昭和 43.7.12 特 1.D	(株) 東 京 久 栄	東京都中央区日本橋通 3-2 画廊ビル
	" 43.7.24 "	東 電 不 動 産 (株)	" 港区新橋 1-1-13
○退会	昭和 43.7. 8 特 1.C	揖 斐 川 工 業 (株)	大垣市万石町 208
	" 43.7. 3 特 1.D	三 幸 建 設 工 業 (株) 東北支店	仙台市東四番丁 35 広業ビル

**会員現在数**

名 誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特 1 A	特 1 B	特 1 C	特 1 D	特 2	合 計	前月比 (増)
63	20 579	5 445	30	19	16	56	215	336	71	26 830	(92)

昭和 43 年 9 月 10 日 印刷

昭和 43 年 9 月 15 日 発行

土木学会誌 第 53 卷 第 9 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂 1-3-6

口絵製版印刷者 若林孟夫

口絵写真印刷所 榎若林原色写真工芸社

東京都港区芝金杉川口町 20 番地

発行者 羽田 巖

発行者 社団法人土木学会

160 東京都新宿区四谷一丁目

定 価 250 円 (送料 30 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130 (編集直通)・5138・5139 番

# 施工技術

定価 230円  
毎月 20日発売  
全国有力書店にて発売

## 10月号主要目次

### 別冊 山陽新幹線建設工事 の計画・設計・施工

山陽新幹線工事局 吉村 恒

〈施工アングル〉 山陽新幹線の建設工事を見る

#### ●座談会

土木用大型鋼材の防食処理

#### ◎主要記事◎

関門架橋の計画と設計

..... 道路公団 村上永一

北陸線頸城トンネルの施工―膨圧区間の掘削例―

..... 国鉄岐阜工事局 朝倉 隆

総武線旧中川橋の解体架設

..... 清水建設 斉藤岩雄

土木工事におけるエポキシ樹脂の使用

..... ショーボンド 星野 幸

本四架橋の基礎施工(3)

..... 建設省 相良正次

くい打ち技術ノート(2)

..... 間組 藤田圭一

生石灰による軟弱地盤の改良と施工(4)

..... 小野田セメント ケミクライム開発室

#### 講座

やさしい建設機械の知識とメンテナンス(5) ..... 瀬下広志  
ネットワークによる工程計画と管理(5) ..... 望月輝雄ほか  
現場技術者のための応用力学(5) ..... 三宅政光

#### ▼定例ページ▲

施工と安全対策―こんなときに事故は発生する―

## 土木技術者のための 電子計算機の活用

八重州土木技術センター 中村龍雄著 A5/¥1,100

電算機とその使い方について、土木技術者にわかりやすく、土木技術者が通常の業務を処理するうえで必要最少限の事項を解説し、最終的には自分でプログラムを組立てられるように編集したユニークな入門手引書

《主要項目》 前編 電子計算機の取扱い 総説 電子計算機の構成 数と単語の取扱い 記憶装置と電子回路の働き 電子計算機の速寸 電子計算機の使用法 コントロールカードについて

後編 プログラムの書き方 コーディングシートの書き方 定数と変数 数学的演算 入出力 プログラム実施の順序の指定 記憶装置の確保 サブプログラムの利用 信頼度

話題のベストセラー!

## M I S

―その理解のために―  
渡辺昭雄著 A5/¥880

MISを正しく理解できるよう身近かな事例から題材を選び、目次から索引までの全ページをユニークな図で解説。しかもオール二色・三色刷りで従来の専門書の形式を破る画期的な編集